

長野日本大学高等学校(通信制課程)開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 長野日本大学高等学校 通信制課程(狭域) 校長 添谷 芳久
- 2 教育区域 長野県
- 3 位置 長野市大字東和田字中道253番3
- 4 設置者 学校法人 長野日本大学学園 理事長 仁科 良三
- 5 学則定員 240人
- 6 開校年月日 令和5年4月1日

1 生徒数(5月1日時点)

	1年	2年	3年	合計	申請時計画	定員
R5						
R6						
R7						
うち新入生 (応募者数)						
県外出身者						

(単位:人)

- ・まだ定員充足には至っていないが、問い合わせ件数や説明会参加人数は増加している。
- ・定期的な中学校訪問や不登校生徒合同説明会への参加、外部サイトからの広報の効果が出始めており、入学者数に関しては3年連続増加を達成した。
- ・今後は当初の計画に近い生徒数の確保を見込んでいる。

2 教職員数(11月末日時点)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	助手	事務職員	合計
計画	計	1	1	7	0	15	1	0	1	26
	専任	1	1	7			1		1	11
	兼任					15				15
R7	計	1	1	12	0	2	1	0	1	18
	専任		1	4			1		1	7
	兼任	1		8		2				11
差	計	0	0	5	0		0	0	0	5
	専任	▲1	0	▲3	0	0	0	0	0	▲4
	兼任	1	0	8	0	▲13	0	0	0	▲4

(単位:人)

- ・開講科目を増加しよりきめ細やかな教育支援を実施するために講師を減らし兼任教諭を増加している。
- ・心身に係るサポートが出来る専門性の高い教諭を専任教諭に配置したため、当初計画よりも専任教諭の人数が少なくなっている。

3 教育の特徴等

- ・開校当初よりも学校認定科目の単位数を増加し、日本大学をはじめとした大学への興味関心や、就労等への支援に関する福祉事業者の講話の機会を創出するなど、様々な背景をもち多様な進路を願う生徒に対し、手厚く選択肢を示せるような工夫をしている。

- ・全日制が文部科学省のデジタル人材育成施策（DXハイスクール）を実践しているため、情報通信系の設備が充実した。現在、通信制で情報2を受講する生徒の数は非常に少ないものの、AIをはじめとした最先端の科学に興味がある生徒も増えてきているため、今後はより情報機器や実習施設の拡充を図りたい。
- ・通信制の教職員は教員免許状取得者のみで構成されており、面接指導時間外にも幅広く、生徒指導や特別講座等、対応することができた。一方、生徒数の増加に伴い、生徒一人あたりの対応時間が少なくなっているのが課題である。担当者だけで抱えずチームで生徒を見守る組織づくりを強化していきたい。

4 収支決算